

IHE
JAPAN

Integrating
the Healthcare
Enterprise

IHE認定技術者になって ～あるサラリーマン研究者のリアル～

富士通株式会社
石原正樹

石原 正樹 (いしはらまさき)

- 富士通株式会社 富士通研究所
シニアリサーチマネージャー
- 筑波大学大学院 システム情報工学研究群
博士課程1年
- メディカルツイン 代表

医療AI

の研究者です

専門

Human Computer Interaction,
Digital Health, Computer Vision



保有資格

- **IHE認定技術者** (日本IHE協会認定 No.20190002)

- RAD 放射線分野 (2019年取得)
- ITI 情報インフラストラクチャ分野 (2019年取得)
- PCD 患者ケアデバイス分野 (2020年取得)
- LAB 検体検査分野 (2020年取得)
- PATH 病理診断分野 (2021年取得)
- CARD 循環器分野 (2021年取得)
- ENDO 内視鏡分野 (2023年取得)

恐らく…
最初に
全て取得

- 上級医療情報技師 (日本医療情報学会認定 No.S20160022)
- 医用画像情報専門技師 (認定 No.06-003)
- 公認医療情報システム監査人補 (iMISCA認定 No.0590A)
- 診療情報管理士 (43390号)

今日お話する内容

- **なぜ**資格を取ったのか？
- 資格取得の**ステップ**
- 仕事での波及**効果**
- 最後に勉強法(ちょっとだけ)

なぜ資格を取ったのか？

最初は“専門性の証明”のため

- 医療AIの研究に従事する中で、業務知識に対する自信がなかった
- 研究職は専門性が比較しにくい
- 第三者評価の「専門性の証拠」として資格取得を決意

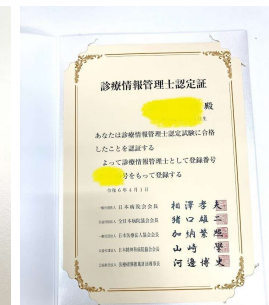
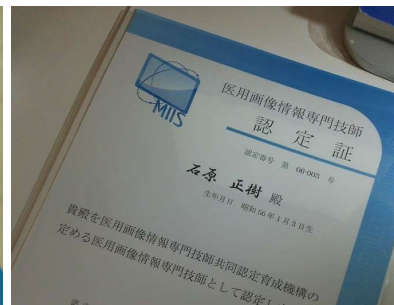
きっかけは名刺交換・・・
“資格すごい！”



資格取得のステップ

医療情報系資格の取得歴

2015年	医療情報技師
2016年	医用画像情報専門技師
2017年	上級医療情報技師
2019年 ~2023年	IHE認定技術者(第1回)
2020年	公認医療情報システム監査人補
2024年	診療情報管理士



社内での波及効果（準備期間）

社内勉強会で、人脈と情報が集まるように

- 右も左もわからず、とりあえず社内で勉強会を主催
- 社内事業部のSEなど**普段関わらない人とも繋がる**
(当時、出たてのDeep Learningや医療に詳しい奴でしばしば事業部会議にゲストで呼ばれる…)

事業部門
「過去問教えるよ
その代わりに…
今度、DL教えてよ」

人事部門
「人材育成のKPIに
資格は良いかも。
今度、会議出てよ」

先輩
「お前医療詳しいんだろ？
メール転送しといたから
対応よろしく。」

社内での波及効果（取得後）

「医療といえば石原」と言われるように

- 評価面談でも資格が**昇格材料**に
- いつの間にか医療×AIの専門性が社内に認知されていた



役員

「キミは医療の専門家と聞いている」

学会での波及効果

資格が自信になり、外部活動にも積極的に

- もともと画像認識が専門
→ 医療現場との会話に不安があった
- 資格で自信がつき、医療系学会だろうが積極的に参加



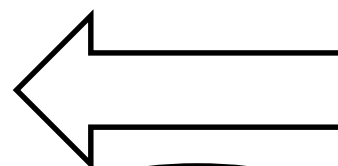
標準化活動での波及効果

医療AIのデータ活用のため標準化の道へ

- 2019年～ FHIR日本実装WG(診断検査SWG)

これまでに関わってきた分科会

- 放射線検査分科会
- 臨床検査分科会
- 細菌検査分科会
- 内視鏡検査分科会
- 心電図分科会
- 口腔歯科分科会



資格のおかげで
業務フローが
イメージできる

IHE認定技術者 (日本IHE協会認定 No.20190002)

- RAD 放射線分野 (2019年取得)
- ITI 情報インフラストラクチャ分野 (2019年取得)
- PCD 患者ケアデバイス分野 (2020年取得)
- LAB 検体検査分野 (2020年取得)
- PATH 病理診断分野 (2021年取得)
- CARD 循環器分野 (2021年取得)
- ENDO 内視鏡分野 (2023年取得)

- その流れで、**日本IHE協会 IHE-FHIR推進WG**にも
 - 現在、ホワイトペーパーを共同執筆中

個人的に一番良かったこと

- 最初は孤独だったが顔見知りが出来はじめると、会社以外の第二の居場所へ変化

知り合いが
ゼロだった時代



(最後に少しだけ)勉強法

勉強自体は、工夫次第でどうにでもなる

- IHE協会の勉強会に出る
- 推薦図書・TFを一通り読む
- 試験対策は比較的オーソドックス
- 略語は「何の略か」を覚えると記憶に残りやすい
- 大事なものは...モチベーション！
(これがないと忙しい社会人は勉強がツライ)
- 目的があれば勉強は苦にならない



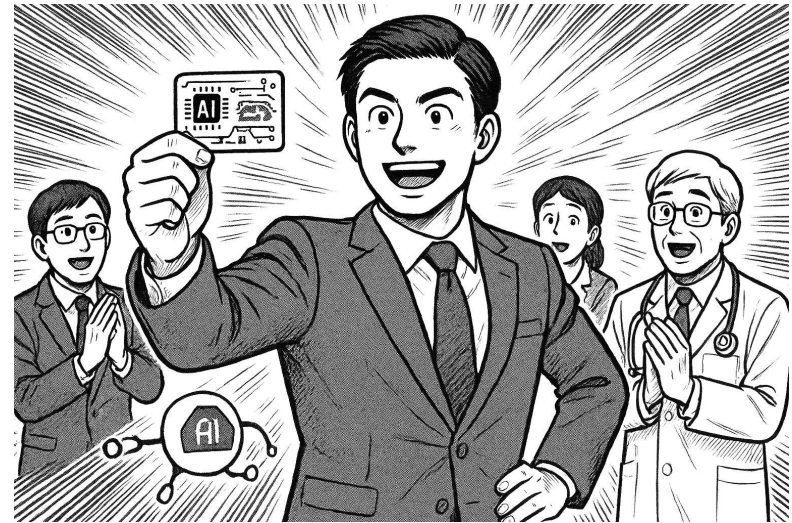
受験を考えている方へ

- 上司と事前に相談
→ 目標設定(マイルストーン)に組み込もう！
- 資格手当や評価との連動を確認
→ (せつかくなら)本業の成果に紐づける
- 社内外の勉強会で仲間・情報集め
→ 孤独な闘いにしない

まとめ

資格は「知識の証明」だけではない

- 自信をくれ、人脈をくれ、活動領域を広げてくれた
- ぜひ、IHE認定技術者の取得を通して、皆さんの活躍の場が広がることを応援しています



AIがさまざまな資格試験を合格する時代
あなたは何のために資格を取りますか？

IHE
JAPAN

Integrating
the Healthcare
Enterprise

ご清聴ありがとうございました。